

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2024年第10週（3月4日～3月10日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

インフルエンザの定点当たり報告数は京都市8.96（前週10.39）となり、警報継続基準値の「10」を下回りました。全国では16.14（前週13.97）と増加し、警報継続中です。
京都市の新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は4.94（前週4.70）で、変化ありません。
※インフルエンザは定点当たり報告数が「30」以上で警報レベルとなり、10を下回るまで継続します。

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフル/COVID-19	69	インフルエンザ	8.96	10.39	17.41
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4.94	4.70	5.51
小児科 (多い順に5位まで)	43	1. 感染性胃腸炎	5.88	5.77	5.09
		2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	2.07	2.30
		3. 咽頭結膜熱	0.44	0.53	0.70
		4. RSウイルス感染症	0.33	0.09	0.16
		4. 手足口病	0.33	0.47	0.26
眼科	10	流行性角結膜炎	0.10	0.70	0.40

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第9週以前の追加報告分を含みます）

2類感染症 結核 1例（本年累積43例）

今週追加1例内訳（肺結核0例、その他結核0例、潜在性結核感染者1例）うち喀痰塗沫陽性0例

本年累積43例内訳（肺結核15例、その他結核14例、潜在性結核感染者14例）うち喀痰塗沫陽性7例

5類感染症 クロイツフェルト・ヤコブ病 1例（本年累積1例）

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1例（本年累積7例）

5類感染症 梅毒 4例（本年累積18例）

◆ 今週のトピックス： 麻しん

令和6年3月1日に、大阪府が公表した麻しん患者と同一の航空機に搭乗していた方が麻しんを発症した事例が、全国で複数報告されています。本市においても3月12日に、令和元年以来5年ぶりとなる患者が発生しており、今後の感染の拡大に注意が必要です。

詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 次ページ以降の内容

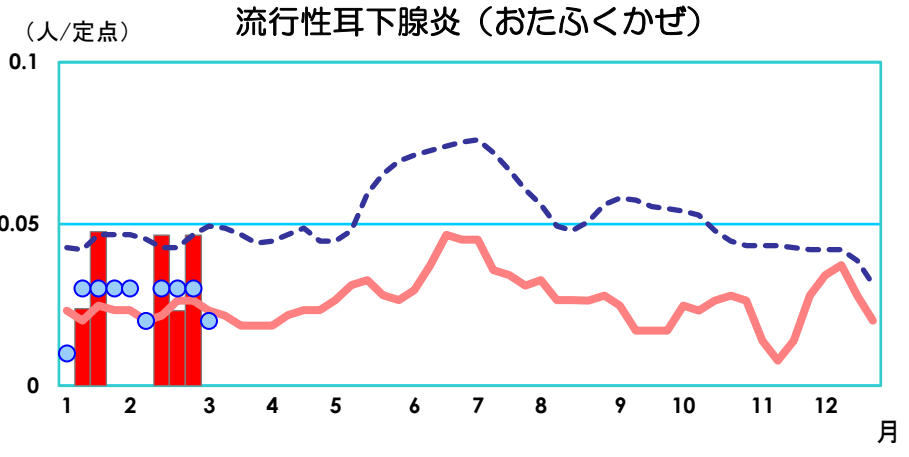
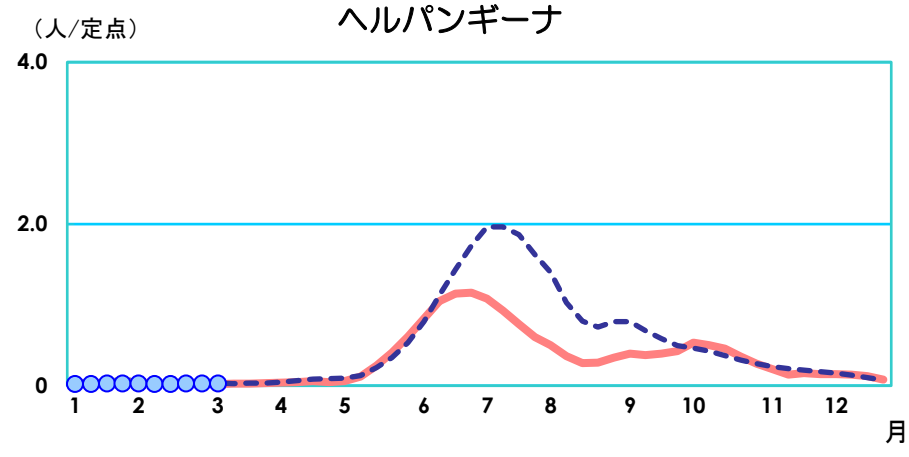
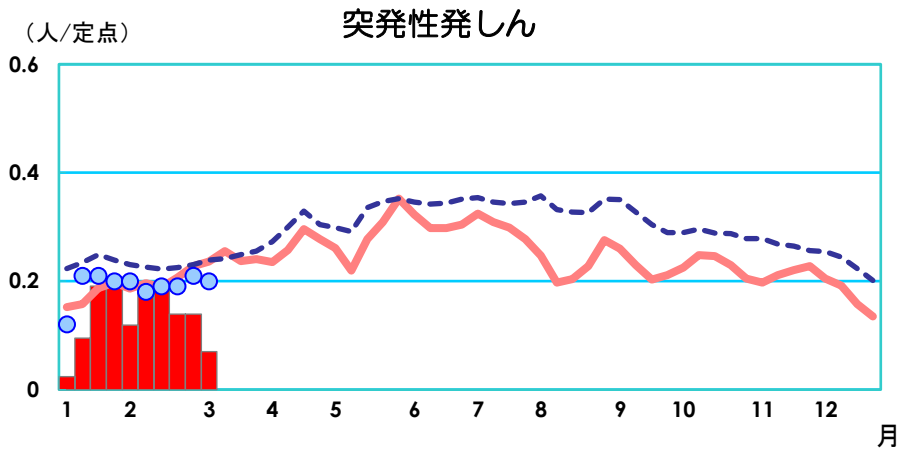
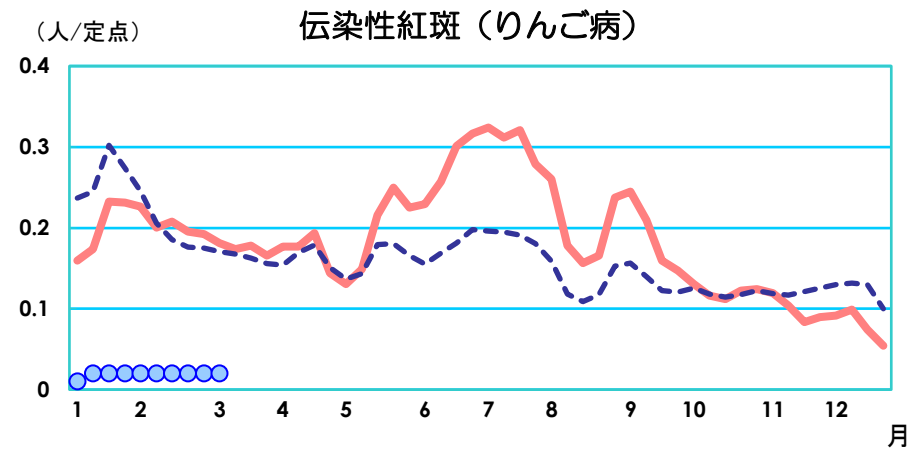
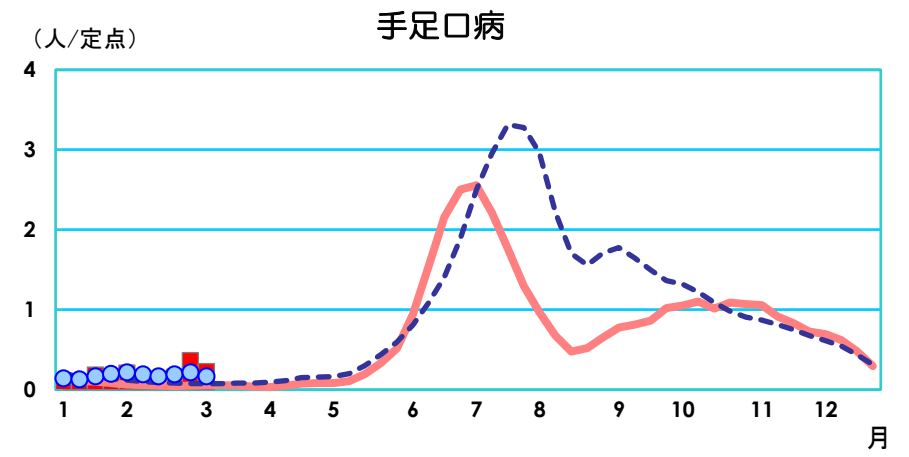
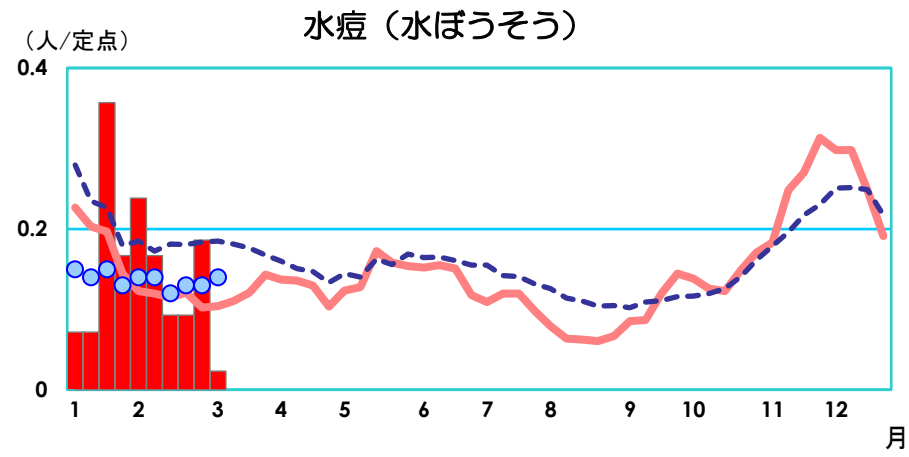
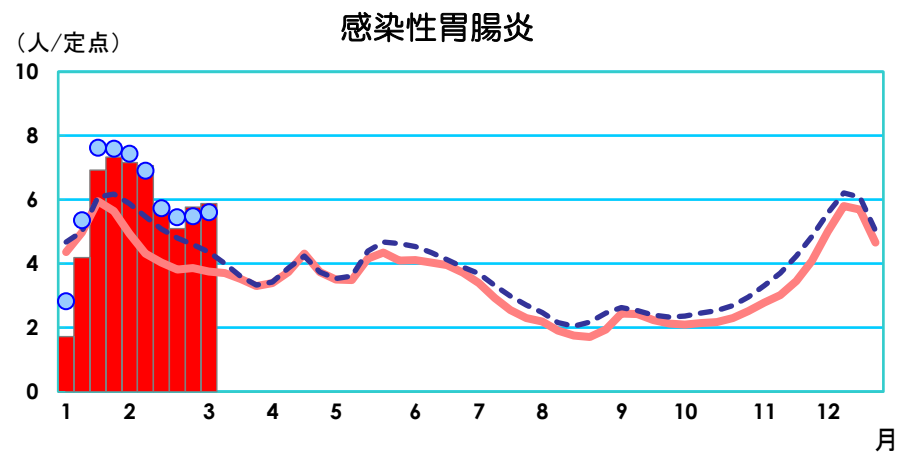
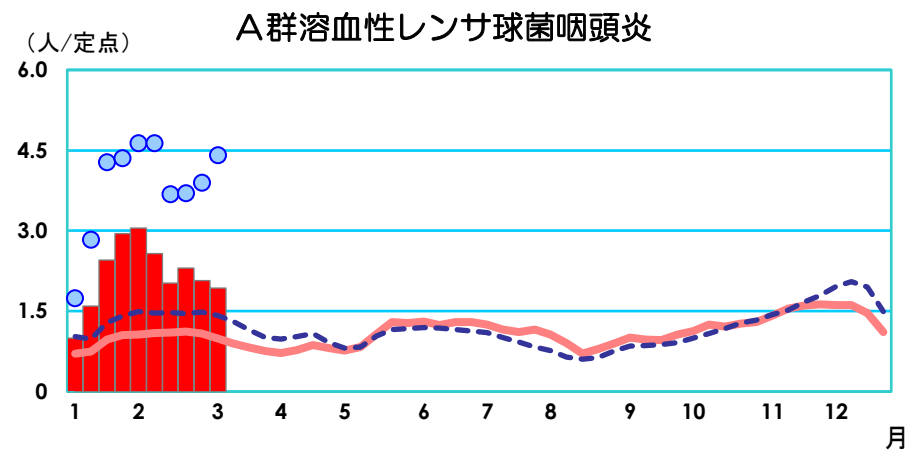
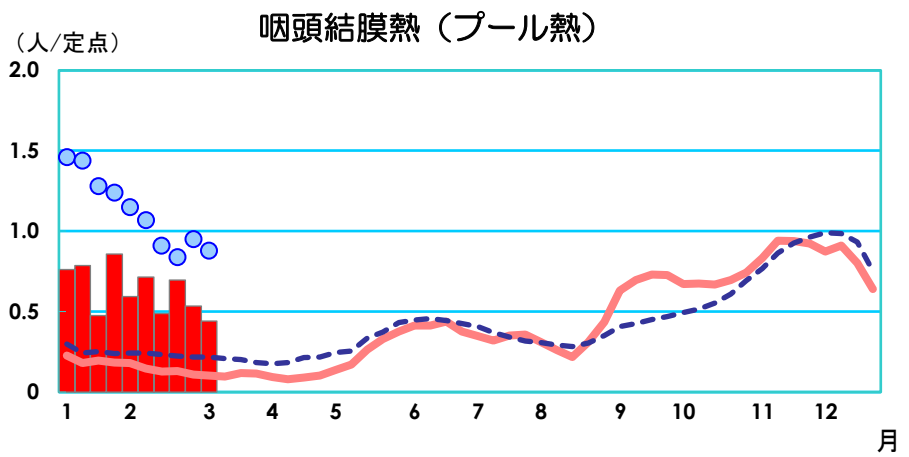
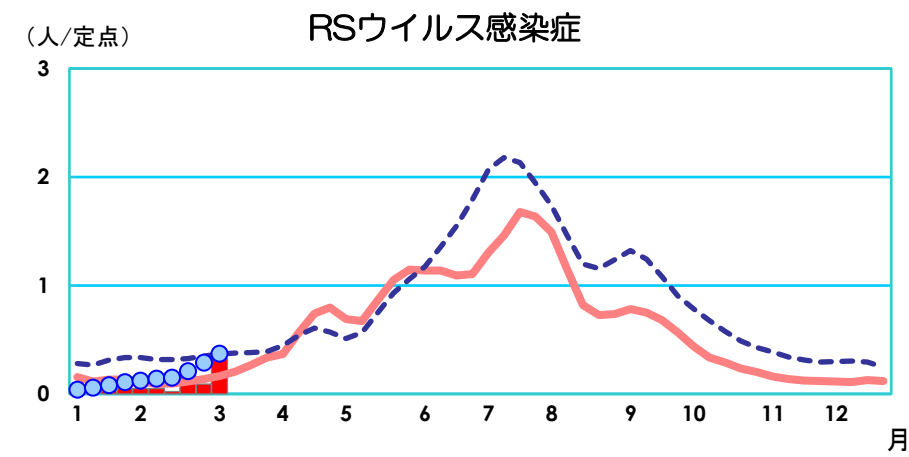
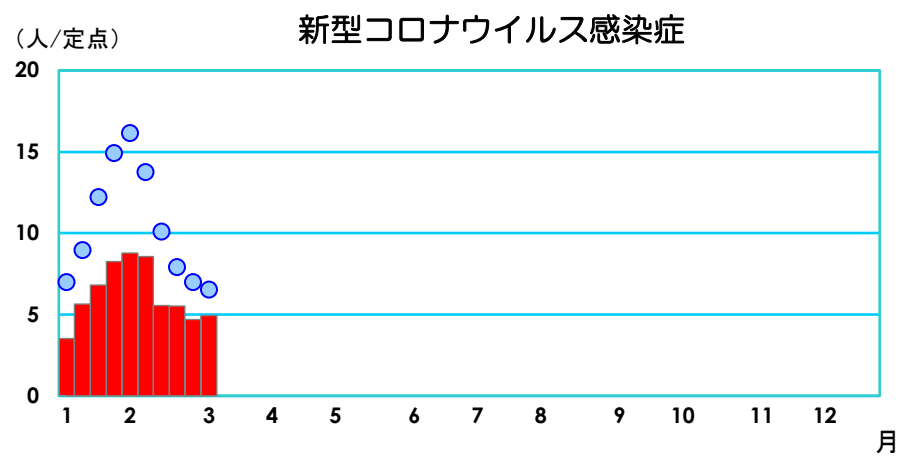
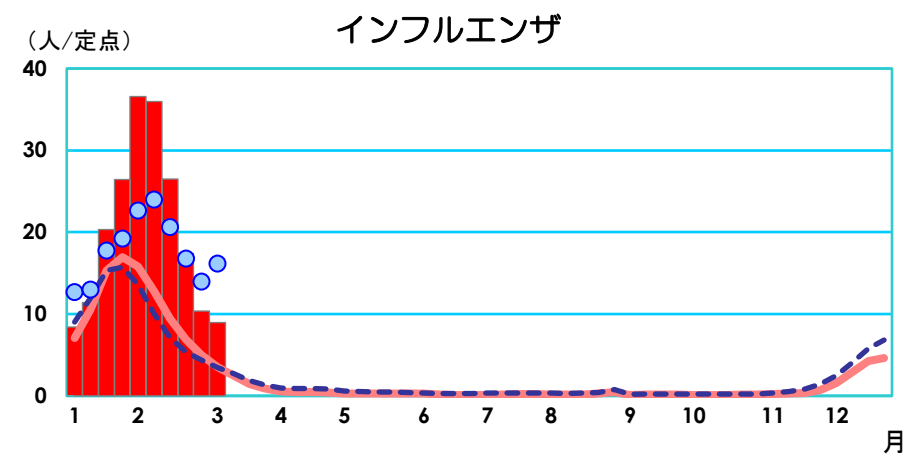
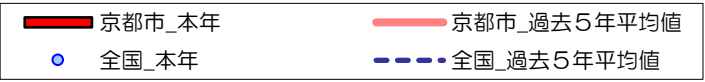
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・トピックス
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

京都市のデータは、2024年3月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は紙面の都合等により、新型コロナウイルス感染症、COVID-19、COVID-19と記載している箇所があります。

インフルエンザ 及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2024年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2024年 第 10 週】

発生なし

発生あり

注意報

警報

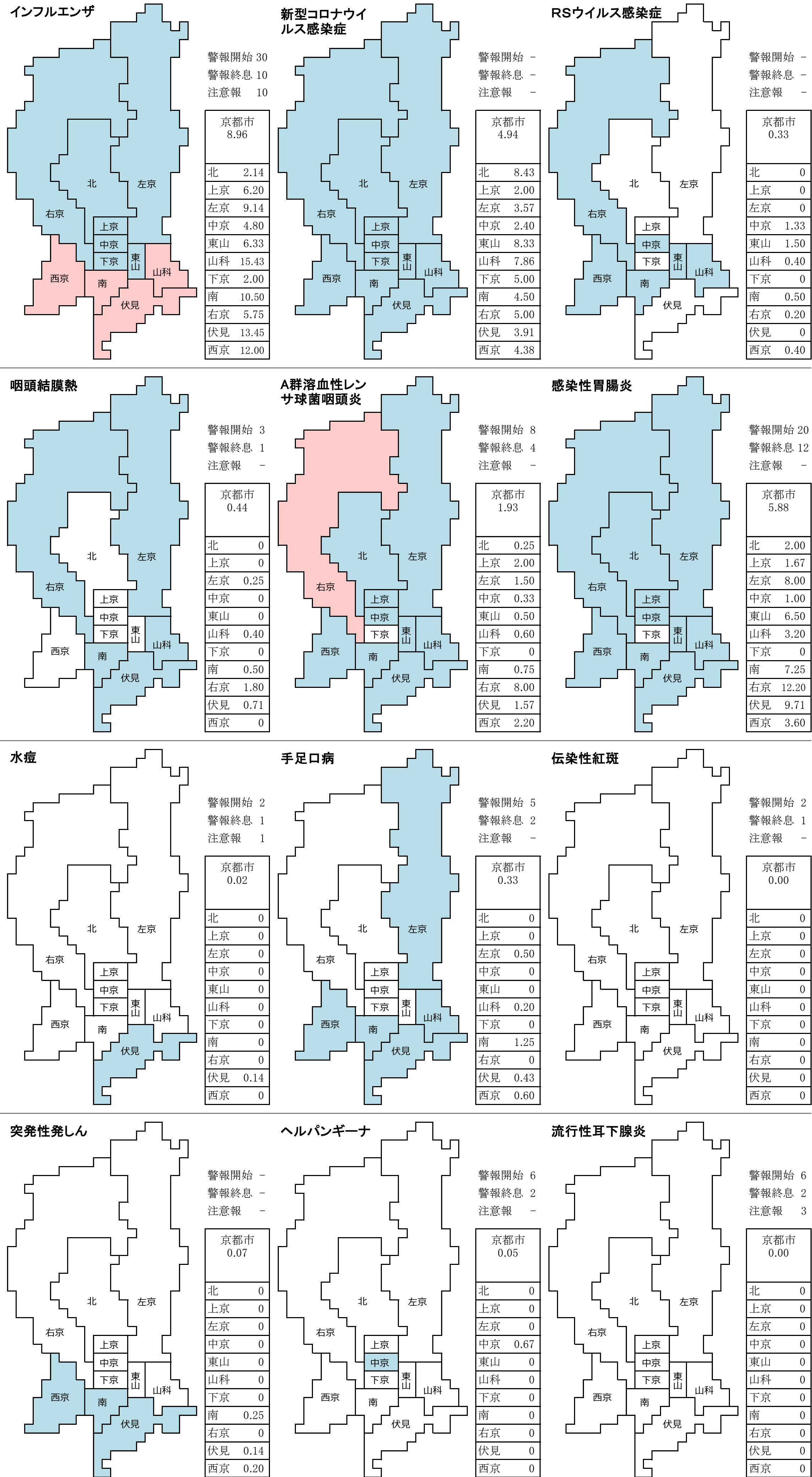
（注意報及び警報の基準値は感染症）

（右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に

注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。



2024年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2024/1/1～2024/3/10

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 累計	2023年 累計(参考)
2類	急性灰白髄炎（ポリオ）													
	結核	20	21	2									43	239
	ジフテリア													
	重症急性呼吸器症候群（SARS）*1													
	中東呼吸器症候群（MERS）*2													
	鳥インフルエンザ（H5N1）													
3類	鳥インフルエンザ（H7N9）													
	コレラ													
	細菌性赤痢													
	腸管出血性大腸菌感染症													38
4類	腸チフス													1
	パラチフス													
	E型肝炎													4
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
4類	A型肝炎													
	エキノкокクス症													
	黄熱													
	オウム病													
	オムスク出血熱													
	回歸熱													
	キャサヌル森林病													
	Q熱													
	狂犬病													
	コクシジオイデス症													
	エムボックス													
	ジカウイルス感染症													
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3													
	腎症候性出血熱													
	西部ウマ脳炎													
	ダニ媒介脳炎													
	炭疽													
	チクングニア熱													
	つつが虫病													1
	デング熱													4
	東部ウマ脳炎													
	鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）													
	ニパウイルス感染症													
	日本紅斑熱													3
	日本脳炎													
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													
	鼻疽													
	ブルセラ症													
	ベネズエラウマ脳炎													
	ヘンドラウイルス感染症													
	発しんチフス													
	ボツリヌス症													
	マラリア													2
	野兔病													
	ライム病													
	リッサウイルス感染症													
	リフトバレー熱													
	類鼻疽													
	レジオネラ症	3	4										7	24
	レプトスピラ症													
	ロッキー山紅斑熱													
5類	アメーバ赤痢													7
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）													1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	8	5										13	39
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)													2
	急性脳炎*4		1										1	2
	クリプトスポリジウム症													1
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1									1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	1										5	12
	後天性免疫不全症候群		2										2	13
	ジアルジア症													
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3											3	10
	侵襲性髄膜炎菌感染症													
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	1									7	35
	水痘（入院例に限る。）	1											1	3
	先天性風しん症候群													
	梅毒	10	4	4									18	109
	播種性クリプトкокクス症	1											1	2
	破傷風													2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症													3
	百日咳													1
	風しん													
	麻疹													
	薬剤耐性アシネトバクター感染症													2
*5	新型コロナウイルス感染症*6	2023年5月8日以降、5類定点把握感染症に変更												44,377

(*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。 (*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。 (*3) 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 (*5)分類名は「新型インフルエンザ等」

(*6)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

第10週(3月4日～3月10日)トピックス:<麻しん>

令和6年3月1日に、大阪府が公表した麻しん患者と同一の航空機に搭乗していた方が麻しんを発症した事例が、全国で複数報告されています。本市においても3月12日に、令和元年以来5年ぶりとなる患者が発生しており(3月13日広報発表、下記URL参照、全数把握感染症の報告状況は次週掲載)、今後の感染の拡大に注意が必要です。

麻しんの全国における過去の推移を見ると、平成19年及び20年に、予防接種法上、麻しんワクチンの接種を1回しか受けていない、10～20代を中心に大きな流行がみられましたが、平成20年から5年間、中学1年相当、高校3年相当の年代に2回目の麻しんワクチン接種を受ける機会を設けたことなどにより、平成21年以降患者数は激減し、平成27年には過去最低の35例まで減少しました。

これにより、WHO西太平洋地域事務局は、平成27年3月27日に、日本を麻しんの排除状態であると認定しました。その後、平成30年及び31年には海外で感染した患者を契機とした国内での感染拡大事例がありましたが、新型コロナウイルス感染症による入国制限や行動制限、感染防止対策等の影響により激減しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の水際対策が緩和された令和5年には、年間報告数は前年より増加し、28例となりました(表)。

近年の麻しんの発生は、輸入例を端緒とするものでもあり、今後も海外からの輸入症例の増加による国内発生のリスクが高まることが予想されます。

1 感染経路

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする疾患で、感染経路は空気感染であり、非常に感染力の強い感染症です。麻しんに対する免疫を持たない場合、麻しん患者と接触する機会があった際には、ほぼ100%感染するとされています。

2 症状及び経過

麻しんウイルスに感染すると、約10～12日後に発熱や熱、咳、鼻水、目の充血などのカタル症状が現れます。2～4日間熱が続いた後、一旦解熱し、頬の粘膜に特徴的な「コプリック斑(白い斑点)」が見られるようになります(写真1)。その後、再び39℃以上の二峰性の発熱とともに特有の発疹が出現します(写真2)。

全身の免疫力が低下するため、肺炎、中耳炎などを合併することがあり、まれに予後不良の脳炎(亜急性硬化性全脳炎)を発症し死に至ることもあります。

合併症がなければ、主な症状は7～10日で回復しますが、免疫力の回復には1か月程度を要するため、それまでは他の感染症にかからないよう十分な注意が必要になります。

3 治療及び予防方法

麻しんに対する治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

麻しんは、空気感染するため、手洗いやマスクのみでは予防できません。そのため、ワクチンによる予防が最も重要になります。京都市では、十分な免疫をつけるため、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)について、就学までに2回の定期接種を実施しています。

<定期接種対象者>

- ・第1期:生後12か月以上24か月未満の者
- ・第2期:5歳以上7歳未満の者であって、小学校入学前の1年間

上記に該当する方は、無料でワクチンの接種が受けられます。

該当年齢の方で、まだワクチンの接種を受けていない方は、速やかに受けましょう。

(該当年齢を外れると有料となります。)

4 法的位置づけについて

感染症法により5類全数把握感染症に規定されています。麻しんを診断(臨床診断例を含む)した医師は、直ちに届け出ることが義務付けられています。

また、学校保健安全法により第2種学校感染症に規定されていますので、登校の可否は学校の指示に従ってください。

○京都市情報館「京都市内で麻しん(はしか)が発生しました」(広報資料)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000323904.html>

表. 国内の感染者数の推移(2024年3月13日現在)

年	全国(人)	京都市(人)
平成20年	11,015	106
21年	147	4
22年	447	2
23年	439	0
24年	283	1
25年	229	3
26年	462	4
27年	35	0
28年	165	2
29年	186	1
30年	279	1
31年/令和元年	744	2
2年	10	0
3年	6	0
4年	6	0
5年	28	0
6年(～10W)	11	1



写真1. 口腔内にみられるコプリック斑(※)



写真2. 発疹の写真(※)

(※) 厚生労働省「学校における麻しん対策ガイドライン」より。

報告数		2024年 第10週（2024/3/4～2024/3/10）							データ取得日：2024年3月13日				
		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
	（報告医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
インフル COV19	インフルエンザ(※ 1)	15	31	64	24	19	108	4	63	46	148	96	618
	新型コロナウイルス感染症(※ 2)	59	10	25	12	25	55	10	27	40	43	35	341
	小児科（定点医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
	（報告医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
小児科	R Sウイルス感染症	-	-	-	4	3	2	-	2	1	-	2	14
	咽頭結膜熱	-	-	1	-	-	2	-	2	9	5	-	19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	6	6	1	1	3	-	3	40	11	11	83
	感染性胃腸炎	8	5	32	3	13	16	-	29	61	68	18	253
	水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	手足口病	-	-	2	-	-	1	-	5	-	3	3	14
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3
	ヘルパンギーナ	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
	（報告医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	1	-	-	1
	基幹（定点医療機関数）	…	…	…	1	…	…	…	…	…	…	…	1
	（報告医療機関数）	…	…	…	1	…	…	…	…	…	…	…	1
基幹	細菌性髄膜炎(※ 3)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	無菌性髄膜炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	マイコプラズマ肺炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-

定点当たり報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
インフル COV19	インフルエンザ(※ 1)	2.14	6.20	9.14	4.80	6.33	15.43	2.00	10.50	5.75	13.45	12.00	8.96
	新型コロナウイルス感染症(※ 2)	8.43	2.00	3.57	2.40	8.33	7.86	5.00	4.50	5.00	3.91	4.38	4.94
小児科	R Sウイルス感染症	-	-	-	1.33	1.50	0.40	-	0.50	0.20	-	0.40	0.33
	咽頭結膜熱	-	-	0.25	-	-	0.40	-	0.50	1.80	0.71	-	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	2.00	1.50	0.33	0.50	0.60	-	0.75	8.00	1.57	2.20	1.93
	感染性胃腸炎	2.00	1.67	8.00	1.00	6.50	3.20	-	7.25	12.20	9.71	3.60	5.88
	水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	-	0.02
	手足口病	-	-	0.50	-	-	0.20	-	1.25	-	0.43	0.60	0.33
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-	0.14	0.20	0.07
	ヘルパンギーナ	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	0.05
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	眼科												
	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	1.00	-	-	0.10
基幹	細菌性髄膜炎(※3)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	無菌性髄膜炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	マイコプラズマ肺炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-

※ 1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※ 2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※ 3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数

2024年 第10週（2024/3/4～2024/3/10）

データ取得日：2024年3月13日

インフルエンザ/COVID-19定点 （報告医療機関数69）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	618	2	5	24	22	36	37	42	62	58	46	47	138	38	11	24	15	5	1	3	2
新型コロナウイルス感染症(※2)	341	1	5	13	3	6	9	6	10	6	5	10	37	11	29	27	29	23	22	33	56

小児科定点 （報告医療機関数43）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	14	3	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	19	-	2	3	4	2	-	3	2	1	-	-	-	-	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	-	-	5	8	6	9	11	11	4	5	7	12	1	4
感染性胃腸炎	253	2	7	17	16	27	31	27	28	19	13	13	26	4	23
水痘	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	14	-	-	7	1	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 （報告医療機関数10）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

基幹定点 （報告医療機関数1）	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数

インフルエンザ/COVID-19定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	8.96	0.03	0.07	0.35	0.32	0.52	0.54	0.61	0.90	0.84	0.67	0.68	2.00	0.55	0.16	0.35	0.22	0.07	0.01	0.04	0.03
新型コロナウイルス感染症(※2)	4.94	0.01	0.07	0.19	0.04	0.09	0.13	0.09	0.14	0.09	0.07	0.14	0.54	0.16	0.42	0.39	0.42	0.33	0.32	0.48	0.81

小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	0.33	0.07	0.16	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.44	-	0.05	0.07	0.09	0.05	-	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	-	-	0.12	0.19	0.14	0.21	0.26	0.26	0.09	0.12	0.16	0.28	0.02	0.09
感染性胃腸炎	5.88	0.05	0.16	0.40	0.37	0.63	0.72	0.63	0.65	0.44	0.30	0.30	0.60	0.09	0.53
水痘	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	0.33	-	-	0.16	0.02	-	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.07	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-

基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数		2023年 第52週 ～ 2024年 第10週										データ取得日：2024年3月13日	
		疫学週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	69	68	68	68	68	68	68	68	69	69	69	69
	（報告医療機関数）	69	68	68	68	68	68	68	68	69	69	69	69
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	1,157	570	776	1,382	1,798	2,487	2,445	1,829	1,201	717	618	
	新型コロナウイルス感染症（※2）	265	239	383	464	561	597	583	384	380	324	341	
	小児科（定点医療機関数）	43	42	42	42	42	42	42	43	43	43	43	
	（報告医療機関数）	43	42	42	42	42	42	42	43	43	43	43	
小児科	R Sウイルス感染症	-	2	-	2	2	2	2	1	7	4	14	
	咽頭結膜熱	105	32	33	20	36	25	30	21	30	23	19	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	125	42	67	103	124	128	108	87	99	89	83	
	感染性胃腸炎	146	72	176	291	308	301	297	251	219	248	253	
	水痘	4	3	3	15	7	10	7	4	4	8	1	
	手足口病	8	5	4	12	11	13	5	10	11	20	14	
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	突発性発しん	4	1	4	8	8	5	8	8	6	6	3	
	ヘルパンギーナ	2	-	-	3	4	1	1	-	3	2	2	
	流行性耳下腺炎	-	-	1	2	-	-	-	2	1	2	-	
	眼科（定点医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	（報告医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	流行性角結膜炎	2	5	4	5	5	3	1	2	4	7	1	
	基幹（定点医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	（報告医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
基幹	細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

定点当たり報告数		疫学週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
インフル COV19	インフルエンザ（※1）		16.77	8.38	11.41	20.32	26.44	36.57	35.96	26.51	17.41	10.39	8.96
	新型コロナウイルス感染症（※2）		3.84	3.51	5.63	6.82	8.25	8.78	8.57	5.57	5.51	4.70	4.94
小児科	R Sウイルス感染症		-	0.05	-	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02	0.16	0.09	0.33
	咽頭結膜熱		2.44	0.76	0.79	0.48	0.86	0.60	0.71	0.49	0.70	0.53	0.44
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.91	1.00	1.60	2.45	2.95	3.05	2.57	2.02	2.30	2.07	1.93
	感染性胃腸炎		3.40	1.71	4.19	6.93	7.33	7.17	7.07	5.84	5.09	5.77	5.88
	水痘		0.09	0.07	0.07	0.36	0.17	0.24	0.17	0.09	0.09	0.19	0.02
	手足口病		0.19	0.12	0.10	0.29	0.26	0.31	0.12	0.23	0.26	0.47	0.33
	伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん		0.09	0.02	0.10	0.19	0.19	0.12	0.19	0.19	0.14	0.14	0.07
	ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.07	0.10	0.02	0.02	-	0.07	0.05	0.05
	流行性耳下腺炎		-	-	0.02	0.05	-	-	-	0.05	0.02	0.05	-
眼科	急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎		0.20	0.50	0.40	0.50	0.50	0.30	0.10	0.20	0.40	0.70	0.10
基幹	細菌性髄膜炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

インフルエンザ 全国推移（2024年）

警報開始：30 警報終息：10 注意報：10 流行期入目安：1

凡例：

0-1	1-5	5-10	10-30	30-45	≥45	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国及び京都府は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

水痘 全国推移 (2024年)

警報開始：2 警報終息：1 注意報：1

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-2	2-4	≥4	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

手足口病 全国推移 (2024年)

警報開始：5 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

伝染性紅斑 全国推移（2024年）

警報開始：2 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-2	2-4	≥4	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

ヘルパンギーナ 全国推移（2024年）

警報開始：6 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-6	6-9	≥9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52		
全国	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03																																												
北海道	0.01	0.01	0.01	0.02	-	-	-	0.03	0.04	0.01																																												
青森県	-	0.03	0.03	0.03	-	-	-	0.03	-	-																																												
岩手県	-	0.08	0.15	0.03	-	-	-	-	-	0.05																																												
宮城県	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-																																												
秋田県	-	0.03	0.03	-	-	-	0.06	-	0.03	0.03																																												
山形県	-	0.04	-	0.04	-	-	0.14	0.14	0.25	0.07																																												
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																												
茨城県	0.04	0.04	0.07	0.04	0.03	0.03	-	0.01	0.05	0.05																																												
栃木県	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.04	0.02	0.02																																												
群馬県	-	-	0.08	0.02	0.02	0.02	-	0.04	0.09	0.04																																												
埼玉県	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	-	0.01	0.02	0.01																																												
千葉県	0.01	-	0.01	0.01	-	0.02	-	0.02	0.01	0.01																																												
東京都	0.01	0.02	0.01	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00	0.02	0.01																																												
神奈川県	0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.03	0.00	0.01	0.01	0.02																																												
新潟県	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02																																												
富山県	0.17	0.17	0.17	0.14	0.07	0.07	0.07	0.14	0.14	-																																												
石川県	0.04	-	0.04	-	-	0.04	-	-	0.03	0.03																																												
福井県	0.04	-	-	0.08	-	-	-	-	0.04	0.04																																												
山梨県	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																												
長野県	0.02	-	0.07	-	-	0.02	-	-	0.06	-																																												
岐阜県	-	0.02	0.04	-	0.02	-	0.06	0.04	-	0.02																																												
静岡県	0.02	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	-	-	0.01																																												

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

流行性耳下腺炎 全国推移（2024年）

警報開始：6 警報終息：2 注意報：3

凡例：

0-1	1-2	2-3	3-6	6-9	≥ 9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	-----	----------	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

